



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社アイ・エス・ビー 上場取引所 東
 コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 廣瀬 雅也 TEL 03-6775-3270
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	10,128	4.3	1,129	△0.4	1,141	△0.2	726	△0.8
2025年12月期第1四半期	9,712	13.8	1,134	2.6	1,143	0.9	732	△3.6

(注) 1. 包括利益 2026年12月期第1四半期 681百万円 (△3.9%) 2025年12月期第1四半期 709百万円 (△19.3%)

2. 前連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	63.41	—
2025年12月期第1四半期	64.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	20,955	14,574	69.5
2025年12月期	21,610	14,522	67.2

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 14,574百万円 2025年12月期 14,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2026年12月期	—				
2026年12月期（予想）		0.00	—	70.00	70.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	18,700	1.4	1,410	0.5	1,430	0.7	860	10.0	75.00
通期	38,500	4.0	3,000	29.6	3,050	27.9	1,850	28.9	161.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	11,463,141株	2025年12月期	11,463,141株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	149株	2025年12月期	149株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	11,462,992株	2025年12月期 1 Q	11,437,372株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第1四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、当該見直し反映後の金額によっております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、所得環境の改善に伴う個人消費の底堅さに加え、各種政策効果や企業の設備・AI関連投資が下支えとなり、緩やかな回復基調を維持いたしました。しかしながら、米国の通商政策をはじめとする各国の内向的な動きや地政学リスクの顕在化、さらには中東情勢の緊迫化による実体経済への波及が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2026年度の目標達成に邁進するとともに、2030年度を最終年度とする「ISBグループ中長期経営計画2030」のもと、「ISB革新 飛躍に向けて～from challenge to breakthrough～」をテーマに掲げ、社会価値と経済価値の向上に向けた各施策を推進しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高101億28百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益11億29百万円（同0.4%減）、経常利益11億41百万円（同0.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億26百万円（同0.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

「モビリティソリューション」のモバイルインフラ及び移動無線端末は概ね計画通りに推移いたしました。車載においてもメーター系の既存顧客による受注が安定しており、売上高は前年同期と同水準を維持いたしました。

「ビジネスインダストリーソリューション」は業務システムに加え、組込み、AI・IoT系案件が好調に推移した一方、昨年発生した不採算プロジェクト対応の影響もあり、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

「エンタープライズソリューション」の金融は主要顧客及び証券・銀行向け案件が堅調に推移いたしました。公共も自治体向けを中心に手堅い推移を見せており、ITインフラはAI需要拡大による部材不足の影響で受注が減速したものの、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

「プロダクトソリューション」のMDM事業は新規大口案件の獲得により、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

利益面につきましては昨年発生した不採算プロジェクトへの対応や、営業活動の強化及び従業員の処遇改善を含む継続的な成長投資に伴う費用増加を増収で吸収しきれず、セグメント利益は前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は79億42百万円（前年同四半期比1.9%増）、セグメント利益は5億40百万円（同22.0%減）となりました。

(セキュリティシステム事業)

リカーリングビジネスにおいて月額課金高が堅調に推移したことに加え、リニューアル案件の受注も順調で、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

利益面につきましては収益性の高いリカーリングビジネスの拡大等が、部材仕入価格や広告宣伝費の増加を吸収し、セグメント利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は21億86百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益は5億80百万円（同34.4%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰により、部材仕入価格の上昇や樹脂製品等の供給懸念といったリスクが顕在化しております。当社グループといたしましては、引き続き原油価格の動向がサプライチェーンに及ぼす影響を注視するとともに、適切なリスク管理に努めてまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産は209億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億54百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金等の減少額が受取手形、売掛金及び契約資産や建物及び構築物等の増加額を上回ったことによるものであります。

負債は63億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6百万円減少いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や未払金の減少額が未払消費税や賞与引当金の増加額を上回ったことによるものであります。

純資産は145億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は69.5%と2.3ポイント増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,078	7,978
受取手形、売掛金及び契約資産	6,388	7,011
前払費用	277	331
商品	1,131	919
仕掛品	0	5
貯蔵品	1	1
その他	73	91
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	16,947	16,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,237	1,268
減価償却累計額及び減損損失累計額	△190	△212
建物及び構築物（純額）	1,047	1,055
土地	354	354
その他	1,067	1,092
減価償却累計額及び減損損失累計額	△544	△583
その他（純額）	522	508
有形固定資産合計	1,923	1,917
無形固定資産		
のれん	286	268
顧客関連資産	368	357
その他	114	132
無形固定資産合計	769	759
投資その他の資産		
投資有価証券	803	715
長期前払費用	13	15
差入保証金	764	788
繰延税金資産	328	367
貸倒引当金	△0	△0
その他	59	59
投資その他の資産合計	1,969	1,945
固定資産合計	4,663	4,622
資産合計	21,610	20,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,373	1,752
契約負債	185	193
短期借入金	120	120
未払金	1,586	867
未払費用	294	373
未払法人税等	600	524
未払消費税等	340	608
賞与引当金	34	746
役員賞与引当金	54	32
受注損失引当金	115	—
その他	403	215
流動負債合計	6,109	5,433
固定負債		
退職給付に係る負債	263	267
役員退職慰労引当金	85	92
資産除去債務	440	447
繰延税金負債	172	122
その他	17	16
固定負債合計	978	947
負債合計	7,087	6,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	3,014	3,014
利益剰余金	8,605	8,702
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,030	14,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	375	317
為替換算調整勘定	116	129
その他の包括利益累計額合計	492	447
純資産合計	14,522	14,574
負債純資産合計	21,610	20,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	9,712	10,128
売上原価	7,064	7,445
売上総利益	2,648	2,683
販売費及び一般管理費	1,514	1,554
営業利益	1,134	1,129
営業外収益		
受取利息	3	4
受取保険金	—	5
保険解約返戻金	3	—
その他	5	3
営業外収益合計	12	14
営業外費用		
支払利息	0	0
手形売却損	0	0
為替差損	—	0
その他	2	0
営業外費用合計	3	2
経常利益	1,143	1,141
税金等調整前四半期純利益	1,143	1,141
法人税、住民税及び事業税	555	472
法人税等調整額	△145	△58
法人税等合計	410	414
四半期純利益	732	726
親会社株主に帰属する四半期純利益	732	726

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	732	726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△58
為替換算調整勘定	△35	13
その他の包括利益合計	△23	△45
四半期包括利益	709	681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709	681

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日 至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		調整額(注)1	合計(注)2
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	7,793	1,919	—	9,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	10	△39	—
計	7,822	1,929	△39	9,712
セグメント利益	695	432	6	1,134

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日 至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	7,942	2,186	—	10,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	9	△37	—
計	7,970	2,196	△37	10,128
セグメント利益	540	580	8	1,129

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る数値については、当該見直し反映後のものを記載しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	78百万円	89百万円
のれんの償却額	17	17